



特定非営利活動法人フリー・ザ・チルドレン・ジャパン
2017年度 事業報告
2018年2月23日作成

◆フリー・ザ・チルドレン・ジャパン事務局◆
〒157-0062東京都世田谷区南烏山6-6-5安藤ビル3F
TEL: 03-6321-8948 FAX: 03-6323-6504
Email: info@ftcj.com URL: <http://www.ftcj.com>

1. 2017年度 事業を実施して

2017年度のハイライトは、組織が目指すビジョンとゴールを見直し、再設定し、2020年までの3年間で重点的に取り組むべき事業計画と目標を定め、具体的な活動に落とし込んで事業に取り組んだことです。また、より良い事業を効率的に進めるために、新たな理事や業務委託スタッフを迎えて事業計画を練り直し、推進できたこともハイライトとして特筆できることです。ここで、2017年に再設定した新しい団体のビジョン、ミッション、活動方針をご紹介します。

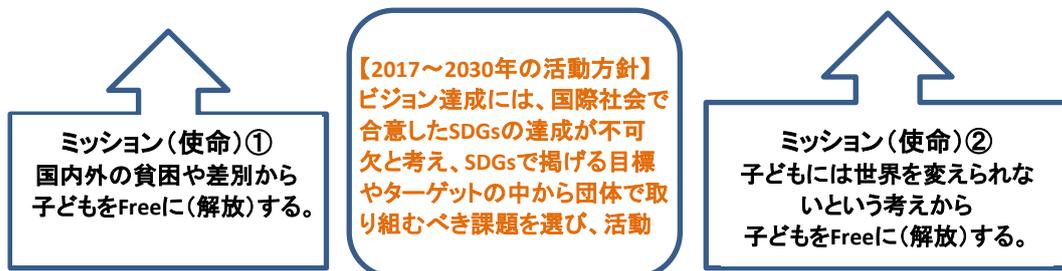
▼フリー・ザ・チルドレン・ジャパンのビジョン・ミッション・活動方針



「世界は変えられる」
子どもがそう信じられる社会に

ビジョン:世界中のすべての人々が【誰一人取り残されることなく】
社会に参加し、国籍・宗教・年齢・性別・障害の有無・文化に関係なく、
違いや個性が尊重され、互いに勇気づける多様性のある社会。

※ビジョンを達成するために、まずは、子どもを最優先に考え活動していきます。



団体の目指すべきビジョンなどを上記のように再設定する過程で、世界規模で広がる経済格差が予想以上に大きく広がっていることや、生物多様性、自然災害、エネルギー問題等国際社会が連携して取り組むべき課題が様々あること、更に、高齢化やジェンダー、若者の失業、あらゆる差別やいじめ、虐待といった国内で取り組むべき課題も山積しており、現代世界の問題に対処するためには政府任せにするのではなく、NGO/NPOなどの民間組織の積極的な関与とリーダーシップが求められていることを理事や事務局スタッフ全員で確認しました。そして、私たちのビジョンの達成には、2016年に国際社会が合意し定めたSDGs(持続可能な開発目標)の達成が不可欠であると認識しました。SDGsの特徴は極度の貧困解消と持続可能な世界の実現という二本柱を掲げていることで、世界中の国が協力し取り組むべきであると示しています。つまり、SDGsの達成に向けて、開発途上国への支援と、国内の課題の双方に取り組むことが大切で、それを、各国政府の政策や方針だけですめるのではなく、様々なセクターや立場や年代をまたいで様々な人々が相互に協力する必要があると、フリー・ザ・チルドレンは考え、団体としてSDGsで掲げる目標やターゲットの中から団体で取り組むべき課題を選び、SDGsを意識しながら活動していくことを決定しました。

フリー・ザ・チルドレンでは、特に子どもや若者に関係することや影響を与える問題については、子ども若者自身がその問題について知り、学び、解決に向けて行動を起こすことに意義があり、重要であると考え、団体の理念である「子どもは未来だけでなく、今日のリーダーでもある」をさらに打ち出し、子どもや若者の可能性や力を育て、後押しをしながら、適切な情報を提供し、彼らにグローバルとローカル両方の課題への取組を促すことが、SDGsの達成へと繋がる重要なアクションだと考え、下記を2017年の重点活動として注力しました。

▼2017年度の活動のハイライト

1. WE Day及びWE Schools事業を展開するためのチームを設置し、準備活動開始したこと(教育機関との連携強化と子どもや若者の社会貢献活動の更なる促進に向けたイベントの開催計画に着手)
2. 子どもや若者の力や可能性を伸ばすリーダーシップトレーニング活動の強化(キャンプ日数や受け入れ人数の増加やスタディツアー開催場所の増加)
3. 権利を著しく奪われ困難に直面している開発途上国の子どもやその家族への国際協力活動(フィリピン国立盲学校との連携事業や紛争による国内避難民への緊急復興支援、インド・ケニアにおける自立支援活動)
4. 事業を行うために必要な管理部門での環境整備(労務環境の改善と体制づくりや個人情報管理システム構築完成)

こういった様々な活動に取り組めたのも、多くの方々からのご支援やご協力があったからこそだと感じています。ご協力下さった皆様に改めてお礼申し上げます。組織のビジョンに向け、今後も引き続きどうぞ宜しくお願い致します。

代表理事 中島早苗

2. 2017年度 事業活動報告

1) 子ども主体事業

◆事業の目的と役割 ・ 活動内容

子ども達が自ら世界の子どもの権利を守るため、主体的に活動する機会提供

活動名	活動内容	実施日時	実施場所	受益対象者の範囲及び人数	事業費(千円)
子ども代表委員	全ての子どもメンバーが安心して楽しく活動できる環境づくり。地方と活動チームや、新しいメンバーと活動チームの仲介の活動を行う。	-	-	-	-
チーム活動	メンバーによって構成されている活動チームへのサポートの実施。活動チームに所属する子どもメンバーに、グループの運営・企画サポートを実施。 【活動チーム】 フィリピンチーム(チョコレートプロジェクト) スピーカーチーム	通年	主に事務所	チーム所属 41人	811

2) 子ども活動応援事業

◆事業の目的と役割 ・ 活動内容

1. 国内の子どもが、世界の開発途上国でみられる児童労働など苛酷な状況に置かれている子どもの現状を学び、問題を解決するための支援活動の企画・実行を主体的に行えるように育成する。

2. 国内外の子どもの権利の擁護を求め、子ども参画を果たすための子どもによる活動のサポートを行う。

【活動ご協力のご紹介】

◆助成協力: 西部信用金庫(春キャンプ)、年賀寄付金(夏キャンプ)

活動名	活動内容	実施日時	実施場所	受益対象者の範囲及び人数	事業費(千円)
子ども活動家育成	FTCカナダが行うTake Action Camp(夏にトロントで実施されている子ども・若者向け1週間のリーダーシップ・トレーニング・プログラム)に日本の子ども若者が参加できるよう企画運営。2週間プログラムを初めて実施。	7/27~8/7	Toronto 校外 Me to We Leadership Centre	5人	1500
	Take Action Camp Japanの企画実施。日本にいる子ども若者が社会問題を知り、その解決に向けて自らがアクションを起こし、より良い世界のために活動するためのノウハウを学ぶ合宿型ワークショップ。 春は2泊3日、夏は4泊5日で実施。	5/4~6 8/14~18	世田谷区立 野毛青少年 交流セン ター/国立 中央青少年 交流の家	73人	4000
メンバー活動サポート	メンバー登録をした子ども達へイベントや活動の情報を定期的に流したり、電話やメール、オフィスでの対応を通じて子どもメンバーが主体的に活動できるようサポートを実施。ウェルカムデーを毎月2回開催。1月には新年会を実施。	通年	主に事務所	全国のメンバー 1,500人	510
	学校や地域のグループ活動のサポートの実施。	通年	主に事務所	全国のメンバー 1,500人	518

3) 外部ネットワーク

◆事業の目的と役割 ・ 活動内容

様々なセクター、組織とつながってネットワークを構築、協働しFTCJのビジョン、ゴールを実現することを目指す。

<2017年度参加・構築したネットワーク>

・JNNE(教育協力NGOネットワーク): 開発途上国の子どもへの教育支援を行っているNGOによるネットワーク。登録団体間での情報交換、勉強会を実施、外務省との意見交換や政策提言などを行います。ネットワークで行うキャンペーン「世界中の子どもに教育を」キャンペーンにも2017年度も運営委員として参加しました。世界の全ての子どもへの良質な基礎教育提供を目指し世界のEFA(万人のための教育)運動とつながって国内でのアドボカシーや政策提言などのキャンペーン活動を行っています。

・児童労働ネットワーク(CLネット): 児童労働の廃絶に向け、勉強会、キャンペーンなどを行っています。児童労働問題に取り組むNGO、労働組合、その他非営利組織、個人で構成されており、FTCJは運営委員団体として参加。

・日比NGOネットワーク(JPN): フィリピンでの開発支援活動を行う日本のNGOとフィリピンのNGOによるネットワーク。イベントの開催や外務省との懇談会、団体間での情報交換を実施しています。

・その他非営利組織への会員登録や他団体との協力

より良い事業運営のためJANIC(国際協力NGOセンター)、DEAR(開発教育協会)などのネットワークに参加しました。

活動名	活動内容	実施日時	実施場所	受益対象者の範囲及び人数	事業費(千円)
JNNE/ 世界中の子どもに教育をキャンペーン	4月15日～5月31日にかけて途上国の教育の現状や教育援助の不足について学ぶ授業が実施され、47都道府県の506校・グループ、43,493人が参加した。	4月～7月	全国	43,493人	162
	5月17日、衆議院第一議員会館で、7年目となる「国会議員のための世界一大きな授業」を開催した。当団体のメンバーの高校生8名が「先生」、国会議員18名に対して、途上国の子どもの教育をテーマに授業を行った。JNNEからはNGOの提言などを伝えた。	4月～7月	東京	高校生8名、国会議員18名	531
	6月28日、JNNEのメンバーと高校生は外務省で、牛尾滋NGO 担当大使(国際協力局参事官地球規模課題担当)と面会し、全国の「世界一大きな授業」参加者から寄せられた「首相・外務大臣への手紙」を手渡し、「日本から途上国の子どもたちへの教育援助をもっと増額してください」と申し入れました。	4月～7月	東京	国会議員18名	170
CLネット	5月5日～7月31日にかけて「ストップ！児童労働キャンペーン2017」を開催。情報発信はFacebookやTwitter等のSNSを中心に行った。また、レッドカードを掲げて写真を撮影し、同時にアクションを表明する「レッドカード+1アクション」と名称を変え参加を呼びかけ、参加者は5,154人となった。	5月-7月	全国	5,154人	83
	11月にアルゼンチンで行われた児童労働の持続的な撤廃世界会議に参加するために、6月12日～7月31日まで、Readyforを通じてクラウドファンディングを実施、無事資金調達ができCLネット加盟団体スタッフ4名で参加しました。会議では①児童労働の持続的な根絶 ②強制労働・人身売買・現代奴隷の廃絶 ③質の高い若者雇用創出 の3つのトピックが話し合われました。12月9日には報告会を実施しました。	5月13日～17日	東京	約300人	195
	児童労働問題解決に向け、政府・企業・市民社会がどのように取り組むべきか検討するため研究会を実施しました。	4/25 6/27 12/7 12/22	東京 大阪	120人	70
日比NGOネットワーク	フィリピンのより良い開発支援のためのNGO・NPO間での情報交換や、学びあい、及び外務省や企業との連携のためのネットワーク。代表の中島早苗が運営委員を務めている。ミンダナオ島マラウイ市で発生した紛争により避難民が発生したことから、緊急支援を実施しました。8月と12月には勉強会を実施しました。	通年	東京 フィリピン	フィリピン ミンダナオ島マラウイ市の避難民 600家族 国内40人	45

4) アドボカシー事業

◆事業の目的と役割・活動内容

目的: 国際問題や権利を奪われた子どもの現状を様々な方法で伝え、多くの人を知ってもらうことで問題解決につなげる。

主に関東と関西で事業を展開しています。

内容: ニュースレター発行、ホームページ構築・更新、出版、資料開発、物販(フェアトレードチーム)、イベント実施、スピーカー派遣など

1) スピーカー派遣・ワークショップ及びイベント実施活動

・106回実施、92か所訪問

・参加・対象人数: 12,642人

日時	講演先(学校・企業・団体名)	実施場所	受益対象者の範囲及び人数	講演テーマ内容
2017/1/8	ストライプハウス ほいくえん	東京都	85	子どもにもできる!
2017/1/15	山梨大学国際協力サークル Change!!!	山梨県	50	フィリピン障害者教育支援
2017/1/17	栃木県立小南城南高等学校	栃木県	200	世界の子どもと貧困 アクションを見つけよう
2017/1/19	立教大学	東京都	150	フィリピン障害者教育支援
2017/2/5	ワン・ワールド・フェスティバル	大阪府	30	フィリピン障害者教育支援
2017/2/6	稲城市立長峰小学校	東京都	82	世界の子どもと児童労働 私のアクション
2017/2/9	神奈川県立有馬高等学校	神奈川県	40	児童労働とソーシャルアクション (使用言語: 英語)
2017/2/11	和歌山県視覚障害者協会	和歌山県	50	フィリピン障害者教育支援
2017/2/12	筑波大学附属視覚特別支援学校 国際研究部	東京都	10	フィリピン障害者教育支援
2017/2/17	お茶の水女子大学附属中学校	東京都	120	差別・偏見 社会問題の繋がりとアクション
2017/2/23	ソーシャルビジネス研究会	東京都	23	フィリピン障害者教育支援
2017/2/27	横浜市立藤の木中学校	神奈川県	300	世界地図から考えよう! 私のアクション
2017/4/14	葛飾区立本田中学校	東京都	380	世界の子どもと貧困 子どもの世界を変えるパワー
2017/4/21	第一学院高等学校	東京都	440	世界のさまざまな社会問題 世界地図から考えよう
2017/4/24	大阪YMCA国際専門学校高等課程 表現・コミュニケーション学科	大阪府	37	世界の児童労働の現状と 子どもにもできる国際協力 "健康"の格差を考える
2017/4/28	第一学院高等学校	東京都	440	様々なソーシャルアクション 世界の児童労働の現状と 子どもにもできる国際協力
2017/5/9	共愛学園中学・高等学校	群馬県	1,300	世界の児童労働の現状と 子どもにもできる国際協力
2017/5/10	立命館宇治高等学校	京都府	65	世界の貧困問題・児童労働
2017/5/12	東京都立芦花高等学校	東京都	40	団体紹介 子どもにもできる国際協力
2017/5/12	立命館宇治高等学校	京都府	65	高校生にできること
2017/5/13	横浜市立平楽中学校	神奈川県	0:00	世界の子どもたちの現状を知る わたしたちにできること
2017/5/19	ぐんま国際アカデミー 中等部・高等部	群馬県	0:00	団体紹介 今、アクションを起こす!
2017/5/20	法政大学	東京都	0:00	国際協力というキャリア 世界の児童労働の現状
2017/5/21	フィリピン スタディーツアー報告会	熊本県	15	団体紹介 フィリピンの子どもたちの現状
2017/5/22	大阪府立能勢高等学校	大阪府	50	世界の子どもたちと児童労働
2017/5/24	橋本市立あやの台小学校	和歌山県	80	世界の子どもたちと わたしたちにできること
2017/5/26	第一学院高等学校	東京都	440	様々なソーシャルアクションを 知ろう・振り返ろう
2017/5/29	東京学芸大学附属国際 中等教育学校 ボランティア部	東京都	15	団体紹介 SDGsと学校でできるアクション
2017/6/2	ぐんま国際アカデミー 中等部・高等部	群馬県	30	団体紹介 今、アクションを起こす!

日時	講演先(学校・企業・団体名)	実施場所	受益対象者の範囲及び人数	講演テーマ内容
2017/6/5	盈進中学高等学校	広島県	50	共生社会実現に向けて 今私たちにできること
2017/6/6	広島大学	広島県	32	フィリピンにおける視覚障害児教育の現状と事業の実例
2018/6/8	大東市立北条小学校	大阪府	61	行動を起こしたクレイグ少年と世界の子どもたち
2017/6/12	横浜国立大学教育学部 附属鎌倉中学校	神奈川県	520	世界の子どもたちの現状 今、わたしたちにできること
2017/6/14	神戸女学院大学 文学部総合文化学科	兵庫県	110	NPO/NGO概論 団体の歴史、理念、活動
2017/6/17	Joyful English Camp	大阪府	22	世界の子どもたちの状況 自分にできること
2017/6/17	西東京市立保谷中学校	東京都	600	共生社会とは
2017/6/18	東京都立国際高等学校 ボランティア部	東京都	15	団体紹介 収入向上事業・フェアトレード
2017/6/21	沖縄県立中部農林高等学校	沖縄県	38	国際福祉 共生社会を考える
2017/6/22	横浜市立大綱中学校	神奈川県	930	世界の子どもたちの生活 差別・偏見・いじめ
2017/6/22	沖縄国際大学 福祉ゼミ	沖縄県	17	フィリピン障害者教育支援 国内共生社会推進活動
2017/6/23	アイセック 早稲田大学委員会	東京都	40	ファシリテーションスキル基礎
2017/6/26	聖ヨゼフ学園中学校・高等学校	神奈川県	51	世界の児童労働と 私にできること
2017/6/29	神戸女学院大学 文学部 北川ゼミ	兵庫県	10	団体活動紹介 世界の児童労働問題
2017/7/1	町田市立真光寺中学校	東京都	25	世界とのつながりを考える 私にできるアクション
2017/7/4	川崎市立宮内中学校	神奈川県	24	世界のさまざまな貧困を考える 私たちにできるアクション
2017/7/5	葛飾区立東金町中学校	東京都	381	世界の子どもと児童労働 アクションを考える
2017/7/6	西宮市教育委員会 人権教育推進課	兵庫県	40	児童労働とわたしたち
2017/7/10	八戸聖ウルスラ学院高等学校	青森県	390	国際社会の問題に対し高校生 の自分たちだからこそできること
2017/7/14	和歌山県立星林高等学校	和歌山県	360	国際理解 世界の子どもたち
2017/7/15	盛岡中央高等学校	青森県	26	日本と世界の貧困を考える
2017/7/19	アイセック 上智大学委員会・慶應大学委員会	東京都	14	コミュニケーションスキル基礎
2017/7/31	NPO大学	東京都	15	フィリピン障害者教育支援 共生社会
2017/8/19	野毛坂グローバル	神奈川県	50	障害当事者による国際協力 支援される人から支援する人へ
2017/8/21	世田谷区国際課	東京都	25	コミュニケーションスキル 世界地図から世界を考える
2017/8/22	川村小学校	東京都	20	世界地図を作ってみよう！ 世界と私たちはつながってる？
2017/8/26	市原中央高等学校 インターアクトクラブ	千葉県	180	子どもの権利、教育、難民、 偏見・自分にできること
2017/9/14	埼玉県立春日部女子高等学校	埼玉県	120	世界の様々な社会問題・貧困・ 児童労働・ソーシャルアクション
2017/9/15	奈良市立一条高等学校	奈良県	80	世界の子どもたちと児童労働 (使用言語: 英語)
2017/9/23	ESD日本ユースカンファレンス2017	千葉県	3	好きなことを活かしたアクション 作りのワークショップ体験会
2017/9/28	国際基督教大学	東京都	83	フィリピンの障害者の現状 共生社会を考える
2017/9/30	グローバルフェスタ2017	東京都	10	中高生の様々なアクション

日時	講演先(学校・企業・団体名)	実施場所	受益対象者の範囲及び人数	講演テーマ内容
2017/10/1	グローバルフェスタ2017	東京都	5	アクションの種類を考えよう! 自分のアクションを見つけよう!
2017/10/10	東京学芸大学附属 国際中等教育学校	東京都	120	NPO・国際協力という仕事 団体紹介
2017/10/18	フリー・ザ・チルドレン・ジャパン	東京都	4	共生社会を考える
2017/10/19	大阪府立今宮高等学校	大阪府	250	共生社会を考える
2017/10/20	読谷村立読谷中学校	沖縄県	260	共生社会って何だろう?
2017/10/20	上智大学 外国語学部	東京都	130	子どもの権利条約とフリー・ザ・ チルドレン・ジャパン
2017/10/23	沖縄県立沖縄水産高等学校	沖縄県	50	共生社会を考える 視覚障害者の生活を知ろう
2017/10/30	栃木県立益子芳星高等学校	栃木県	160	世界の子どもと児童労働 アクション作り
2017/10/31	東京都立世田谷総合高等学校	東京都	25	世界の食糧問題を考える 今わたしにできること
2017/11/18	アジアリーダー塾	東京都	8	学生が運営する子ども支援NGO の立ち上げとマネジメント
2017/11/21	伊藤国際教育交流財団	東京都	4	障害はどこにある? 共生社会を考える
2017/11/21	パーソナル・ケア吉祥寺	東京都	7	障害はどこにある? 共生社会を考える
2017/11/28	国際基督教大学 特別学習支援室	東京都	4	障害はどこにある? 共生社会を考える
2017/11/30	栃木県立小山城南高等学校	栃木県	200	世界の子ども達と貧困 高校生のわたしにできること
2017/12/1	相模原市立相原中学校	神奈川県	230	なぜ貧困が起こるのか 児童労働と私たち
2017/12/2	視覚障害者 大学生有志グループ	東京都	6	障害はどこにある? 共生社会を考える
2017/12/2	世田谷区立 野毛青少年交流センター	東京都	10	偏見って何だろう? 自分の人生を振り返ろう
2017/12/5	青森県立青森南高等学校	青森県	79	チームワークリーダーシップ (使用言語:英語)
2017/12/6	日本福祉大学	愛知県	80	共生社会
2017/12/7	愛知県立時習館高等学校	愛知県	30	世界の子どもと児童労働 今わたしにできること
2017/12/8	内閣府 障害者週間「連続セミナー」	東京都	17	互いに知ることから始めよう -共生社会を考える-
2017/12/9	世田谷区立桜丘中学校	東京都	171	世界の子どもと児童労働 今わたしにできること
2017/12/9	世田谷区立桜木中学校	東京都	180	世界の子どもたちの様々状況を 考えよう、アクションを見つけよう
2017/12/9	児童労働ネットワーク	東京都	15	児童労働世界会議と 日本の私たちがすべきこと
2017/12/10	グローバルチャレンジプログラム	東京都	8	自分はなぜ留学するの? 世界の問題を知ろう!
2017/12/10	国際基督教大学協会	東京都	30	障害はどこにある? 共生社会を考える
2017/12/11	千代田女学園中学校	東京都	15	児童労働とわたしたち アクションを見つけよう!
2017/12/11	JANIC	東京都	6	障害はどこにある? 共生社会を考える
2017/12/12	ノートルダム女学院高等学校	京都府	40	フィリピンの課題と子どもたち
2017/12/12	ピナット	東京都	6	障害はどこにある? 共生社会を考える
2017/12/13	青森県立八戸西高等学校	青森県	200	世界の子ども達と貧困 世界の子どもアクション

日時	講演先(学校・企業・団体名)	実施場所	受益対象者の範囲及び人数	講演テーマ内容	事業費(千円)
2017/12/13	セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン	東京都	7	障害はどこにある？ 共生社会を考える	
2017/12/15	相模原市立緑ヶ丘中学校	神奈川県	350	子どもの権利と 世界を変える子ども達	
2017/12/18	兵庫県立猪名川高等学校	兵庫県	170	世界をみんなで表そう 自分にできるは何だろう？	
2017/12/19	カリタス女子高等学校	神奈川県	96	障害って？共生社会って？ 自分のアクションを考えよう	
2017/12/20	カリタス女子高等学校	神奈川県	81	障害って？共生社会って？ 自分のアクションを考えよう	
2017/12/21	神奈川県立有馬高等学校	神奈川県	200	世界の児童労働の現状 今わたしたちにできること	
2017/12/21	大阪府立佐野高等学校	大阪府	80	貧困とは・抜け出すためには アクションを考えよう	
2017/12/22	児童労働ネットワーク	大阪府	25	児童労働世界会議と 日本の私たちがするべきこと	
2017/12/28	Wake Up Japan IMPACT JAPAN 2017	東京都	10	情熱を行動に転換させる	
5回	ファシリテーター養成プログラム	東京都	14	ファシリテーション基礎、コミュニ ケーション基礎、実戦練習	4360

■事務所訪問対応

日時	内容	実施場所	受益対象者の範囲及び人数	講演テーマ内容	事業費(千円)
24回	事務所訪問対応	FTCJオフィス	80人	月2回のボランティアデーや 事務所訪問の対応	1265

2) ニュースレター・メルマガ発行、団体ホームページ更新作成、資料教材開発・出版、物販活動

活動名	活動内容	実施日時	実施場所	受益対象者の範囲及び人数	事業費(千円)
ニュースレター・ アンニュアルレ ポート発行	2016年度アンニュアルレポート NL 41号特集: フリー・ザ・チルド レンはWEに NL 42号特集: テイク・アクション・ キャンプレポート NL 43号特集: インダスタディー ア－夏レポート	3月 3月 7月 12月	東京 事務所	各号600部 印刷	879
メルマガ 発行	月に2回発行	通年	東京 事務所	国内外の人々 約3,000人	369
ホームページ 更新・作成	webサイト随時更新:1日平均715人 程度アクセスあり。 ニュース・レポート:1日平均210人程 度アクセスあり	通年	東京 事務所	国内外の人々	275
資料開発・ 出版	団体パンフレットの改訂、学校・教員 向け冊子の改定、ワークショップ教材 の改訂。	通年	東京 事務所	子ども、学校、一般	560
物販	フェアトレード商品や出版物の紹介、 それに関する資料作成と仕入れ、販 売など。	通年	東京 事務所	子ども、一般	432

【活動ご協力のご紹介】

◆助成協力: 日本財団(教材開発、ファシリテーター育成、出張講演)、電通育英(ファシリテーター育成※3月まで)、年賀寄付金(夏キャンプ)

5) 海外自立支援事業・緊急支援事業

◆事業の目的と役割 ・ 活動内容目的: 貧困などが原因で権利を奪われ困っている開発途上国の子ども(特に、支援地域のフィリピン、インド、ケニアなど)の権利が守られ教育を受けられ自立できるよう支援する。

内容: フィリピン、インド、ケニアなどの開発途上国の子どもが貧困から解放され自立できるよう包括的な支援事業を実施する。

<フィリピン支援事業>

活動名	活動内容	実施日時	実施場所	受益対象者の範囲及び人数	事業費(千円)
先住民族の子どもへの教育支援	手紙を通じて交流しながら子どもを支援する「文通プログラム」を通して集った資金とその他寄付、助成金を使い、ミンダナオ島の台風被害にあった先住民族ビナンシヤン村に暮す中等教育を受ける年齢の子どもたちを対象にした通学のための奨学金サポートを実施。 これまで支援してきた子どもたちが中等教育を修了することから、支援終了次年度から別の地域を対象とする予定。	通年	フィリピン	ミンダナオ島 ディババウオン族 子ども20人→途中 から4人	180
ミンダナオ島 台風被災地 公立学校農業科 応援事業	2012年12月にフィリピン南部ミンダナオ島を直撃した大型台風ポーファにより、甚大な被害を受けたミンダナオ島タバオ・オリエンタル州バガンガ地方バクリン村において、持続可能な農家に育つよう公立学校での農業科の拡充支援事業を実施。具体的には、畑や花壇、納戸の設置、農機具や工具の購入などを実施。今年度は事業後のフォローアップやモニタリングを行った。	通年	フィリピン	農業科及び 教員45人	50
性虐待や刑務所から 救出された 子ども教育支援	指定寄付やフェアトレード商品の収益によって、フィリピン・ルソン島サンパレス州オロンガポに位置する現地パートナー団体ブレダ基金を通して、性的虐待・搾取を受けた少女や、路上や刑務所から救出された少年への教育、貧困地域への自立支援活動の実施。	通年	フィリピン	子ども約 200人	250
障害者支援事業	2016年よりクラウドファンディングReadyforにて資金調達を開始、本年度よりフィリピンマニラにある国立盲学校にて、寮の修繕工事を開始、点字プリンターを購入した。日本国内では出張授業で共生社会をテーマに取り上げ啓発に取り組んだ。	通年	フィリピン	フィリピン国立盲学 校生徒 150人	5,776

【活動ご協力】

◆活動費助成協力: 一般財団法人まちづくり地球市民財団(ミンダナオ島台風被災地公立学校農業科応援事業)

<インド支援事業>

活動名	活動内容	実施日時	実施場所	受益対象者の範囲及び人数	事業費(千円)
西ベンガル州 CCDマクタニール養護 施設運営 事業	手紙を通じて交流しながら子どもを支援する「文通プログラム」を通して集った資金やその他指定寄付を使って、現地パートナー団体CCDを通じて、路上や児童労働などから救出され施設で生活する子どもと貧困家庭で暮らす子どもが学校に通え、栄養ある食事で健康に暮らせるよう事業を実施。具体的には支援対象者の子どもが学校に通うために必要な教育費(制服や教材文具、ワークショップ教材費)や、食費の提供、健康医療支援プログラムのために支援金を活用した。また、施設では美術や体育などの情操教育を通し、より豊かな心身の発達を育んでいる。	通年	インド	マクタニール擁護 施設で生活する 22人の子ども 貧困家庭の子ども 10人	400

西ベンガル州 ハロア開発地区子ども 若者自立支援事業	西ベンガル州ハロア開発地区に暮らす貧困家庭の子どもや若者に対して、自立できるよう収入向上のための職業訓練セミナーを提供し、自立できるよう支援する。また、虐待や児童婚などの課題から子どもを守るために、子どもの権利を伝える子ども若者グループを育成し、地域の子ども及びおとなが権利についての知識を得る環境を作る。	4～12月	インド	西ベンガル州ハロア開発地区の子ども若者約200人	1,180
ラジャスタン州 貧困農村地域 自立支援事業	ラジャスタン州ラジサマンド地方農村地域では、降雨量が少なく半乾燥地帯のため、またインフラ整備も進んでいないため、農作物の収穫が伸びず、村人は現金収入が少なく貧困から脱却が難しい状況にある。そこで現地パートナーWE Charityを通じて人々が貧困から抜け出し自立できるよう5つの柱(教育、水、保健衛生、生計維持、食糧農業)をたてて包括的に支援をするもの。	通年	インド	カルタナ村及びベルダラ村の人々 2,540人	2,500

【活動ご協力】

◆活動費助成協力:大阪コミュニティ財団(ハロア開発地区子ども若者自立支援事業)

<ケニア支援事業>

活動名	活動内容	実施日時	実施場所	受益対象者の範囲及び人数	事業費(千円)
ケニア深井戸建設及び給水システム確立事業	支援対象地のエシノニ村には井戸がないために子どもや女性たち村人は1日に何時間も費やし、15キロ離れたところまで水汲みに行かなければならない。また、半乾燥地帯の当該村は乾季に水不足に陥りやすい。そこで、エシノニ村に暮らす1200人の村人がきれいな水にアクセスできるよう、深井戸の新規建設及び給水所を村内に設置し、今後、給水所を村人によって持続的に運営管理できるよう、村人の人材育成、研修を行った。	通年	ケニアナロック群 南ナロック県エシノニ村	ケニアナロック群 南ナロック県エシノニ村約1200人	3,950

【活動ご協力】◆活動費助成協力:TOTO水環境基金

<その他支援事業>

活動名	活動内容	実施日時	実施場所	受益対象者の範囲及び人数	事業費(千円)
WE Charity(FTCインターナショナル)を通じてのそのほかの地域での農村自立支援事業	FTCJ母体団体のWE Charity(旧FTCインターナショナル)を通じた、中南米(ハイチ、エクアドル、ニカラグア)やアフリカ(シエラレオネ、タンザニア、エチオピア)、中国農村部における貧困などの現状を日本人に伝え、5つの柱(教育、水、保健衛生、収入、農業食糧)の側面から包括的に国際協力を行う貧困農村開発自立協力事業。	通年	ハイチ 中央プラトー地区 マリアラパ	マリアラパに暮らす子ども約500人	100

<緊急支援事業>

活動名	活動内容	実施日時	実施場所	受益対象者の範囲及び人数	事業費(千円)
フィリピン・ミンダナオ島マラウイ紛争による国内避難民緊急復興支援	フィリピン軍と過激派組織「イスラム国」(IS)系武装勢力「マウテグループ」およびバングサモロ・イスラム自由戦闘隊との武力衝突がミンダナオ南部のマラウイ市で発生したため、50万人以上の住民が自宅から近隣の町に避難し、2万5千人以上の住民が避難所での生活を強いられていることを受け、現地NGOと、JANIC(FTCJが参加するフィリピンで事業を展開する日本のNGOのネットワーク組織)を通じて、避難生活を送る人々への生活用品や飲料水及び食料品、子どもへの文房具などの物資援助を提供した。	7～12月	フィリピン	ミンダナオ島マラウイ市から避難する住民約4300家族	624
熊本緊急支援	熊本で震災後入院している子どもたちが、少しでも安心して過ごせるように、くまモンのぬいぐるみをプレゼントする一般社団法人ドリーム・ラボ主催のくまモンプロジェクトに賛同し、ぬいぐるみの購入費やその他事業にかかる経費の寄付を集め事業実施。	1～3月	熊本	熊本の子ども達 300人	650

【活動ご協力】

◆寄付協力:株式会社チヨダ(熊本緊急支援)

◆寄附:ベネッセ子ども基金

<スタディーツアー支援事業>

活動名	活動内容	実施日時	実施場所	受益対象者の範囲及び人数	事業費(千円)
フィリピン・スタディーツアー	春休みにフィリピンの支援先を訪問し、現地の子どもや地域の人々との交流、盲学校訪問や、ボランティアを行うツアーを実施。貧困の中で生きる子ども達の現状とその課題を学び、帰国後にその現状を伝えるにはどういった活動をしたらよいかについても考える。ホームステイプログラムも実施。 フィリピン:3月下旬	3月25日 ~31日	フィリピン ルソン島 サンパレス州オロ ンガポ周 辺及びマ ニラ首都 圏	12人	1,377
インド・スタディーツアー	夏休みに、インドの支援先のラジャスタン州や観光地域を訪問し、現地の子どもや地域の人々との交流、ボランティア活動を行うツアーを実施し、貧困の中で生きる子ども達の現状や村の自立に向けて学び、日本にいる私たちに何が出来るかを考えるツアー。帰国後に報告書作成や報告会を通じて、現地の様子を伝える活動を行う。	8月6日 ~12日	インド デリー、ア グラー、ラ ジャスタン 州	10人	1,400

3.管理などその他この法人の目的を達成するために必要な事業に関する報告

管理部

活動名	活動内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	事業費(千円)
翻訳	事業の運営に関係する資料を日・英に翻訳。	通年	東京	30	23
研修受講	円滑な組織・事務局運営のため下記の助成を受け研修を受講 ・データベースsalesforce研修受講 ・認定ファンドレイザー ・障害平等研修ファシリテーター研修	通年	東京	4	80
個人情報管理	アクセスのデータを構築デザインし、メンバーや協力者などの個人情報を整理し管理を行った。	通年	東京	4	1200
問い合わせ対応	メール、電話、FAX、郵送にて事務局に届く問合せや連絡に対応。対応例:事務所訪問、出張講演調整、教材や物販の注文、団体など組織からのアンケートへ返答、子ども、大学生、社会人からの質問返答、メンバー希望、団体への質問返答など(子どもメンバー334人、ユースメンバー1,010人、ボランティアメンバー登録90人)	通年	東京	3	400
会計	組織の透明な会計のための団体に関する資金の流れを管理し帳簿を付けるなどの業務を実施。	通年	東京	2	1800
理事会運営・管理	事業を円滑に実施するための理事会の運営。	通年	東京	11	160
その他	事務所運営管理、什器管理など。	通年	東京	5	100

【活動のご協力】

◆助成協力:国際協力システム(人材育成・強化)、東京都(家事サービスを活用した両立支援推進)、東京都(働き方改革のための就業規則等見直し)

【事務局体制、役割報告】

原元望:事務局長
河本千夏:アドボカシー事業リーダー
板倉香子:会計・総務
伊藤菜々美:子ども活動応援事業リーダー
石田由香理:フィリピン障害者支援事業プロジェクトマネージャー
清田健介: 翻訳チーム、広報
浅田紀子:関西での活動

【理事兼任】

中島早苗:海外自立支援事業・組織運営全般
出野恵子:子ども活動応援事業
伴野保志:個人情報管理システム構築
藤井裕子:関西での活動

【インターンご紹介】

2017年度は下記のインターンのみなさんが活動を支援担当の事業を担いました。(敬称略・順不同)
本間瑞季:フィリピン障害者支援事業(広報、教材作成)
川西麻友:アドボカシー事業(教材作成)
堀達樹:動画作成、We Dayサポート

メディア掲載一覧 2017年1月～12月にメディア等などで配信・紹介されたFTCJの活動です。

時期	メディア配信・媒体名	内容
通年	中学生公民教科書	清水書院 フリー・ザ・チルドレンの活動が掲載
通年	英語教科書 ONE WORLD	教育出版 中学校英語教科書の単元にてフリー・ザ・チルドレンの活動が掲載
2017/1/5	ソトコト2月号	クラウドファンディングについて取り上げられました。
2017/1/12	フィリピンプライマー	フィリピン国立盲学校支援について取り上げられました。
2017/1/12	CNN Philippines	総理夫人のフィリピン盲学校訪問について取り上げられました。
2017/1/13	まにら新聞	フィリピン国立盲学校支援について取り上げられました。
2017/1/13	The Philippine STAR NEWS	フィリピン国立盲学校支援について取り上げられました。
2017/1/16	NHK NEWS 首都圏ニュース	共生社会がテーマの講演会について、クラウドファンディングについて取り上げられました。
2017/1/16	NHK NEWS Web	共生社会がテーマの講演会について、クラウドファンディングについて取り上げられました。
2017/1/27	81.3FM J-WAVE ～JK RADIO～ TOKYO UNITED	石田が出演、フィリピン盲学校支援についてお話をさせていただきました。
2017/1/31	トジョウエンジン	石田のインタビューが掲載されました。
2017/2/1	Rhythmooon	石田のインタビューが掲載されました。
2017/2/4	ニュース和歌山	共生社会がテーマの講演会の様子が取り上げられました。
2017/2/4	NHK「視覚障害ナビ・ラジオ」	石田が出演、フィリピン盲学校支援についてお話をさせていただきました。
2017/2/9	点字毎日 活字版、点字版	共生社会がテーマの講演会の様子が取り上げられました。
2017/2/12	朝日新聞デジタル (和歌山)	共生社会がテーマの講演会の様子が取り上げられました。
2017/2/12	毎日新聞地方版 (和歌山)	共生社会がテーマの講演会の様子が取り上げられました。
2017/3/15	グローバルネット	石田のインタビューが掲載されました。
2017/4/2	毎日新聞 全国版	フィリピンスタディーツアーについて取り上げられました。
2017/4/2	まにら新聞	フィリピンスタディーツアーについて取り上げられました。
2017/6/14	毎日新聞	石田のインタビューが掲載されました。
2017/7/6	琉球新報	共生社会がテーマの講演会の様子が取り上げられました。
2017/8/9	WORMO	団体の活動、代表中島のインタビューが掲載されました。
2017/8/13	ラジオ沖縄 思いやり交差点	石田が出演、フィリピン盲学校支援についてお話をさせていただきました。
2017/8/28	Exciteニュース	デフォールと連携したチャリティーキャンペーンについて取り上げられました。
2017/9/1	FPジャーナル	フィリピン国立盲学校のクラウドファンディングについて取り上げられました。
2017/9/27	Yahoo! ニュース	フィリピン国立盲学校のクラウドファンディングについて取り上げられました。